

## 教育を拓く知恵

- 1 本年度の重点施策を振り返って
- 2 学校じまん「高社中学校」



▲地域の方と一緒に弁当づくり (永田小)

## 本年度の重点施策を振り返って

本年度の重点施策「学校と家庭・地域による連携教育」「学ぶ力の育成」「市民ニーズに応じた生涯学習」「安心安全な施設設備」「少子化時代の学校教育」に沿って、特色ある教育施策を中心に振り返ってみました。

### 「連携による教育力向上」 一年目の実践終わる

①中野市「キャリア教育」支援協議会が産学官の代表者により発足

昨年11月、地域ぐるみで子ども「社会的・職業的な自立に向けた育ち」を支える組織が委員18名によりスタート

しました。  
会長には商工会議所副会頭の高橋洋さん、副会長に中野平中学校長の和田宏昭さんが選出されました。

会では、市内86事業所に協力いただいた中学2年生の「職場体験学習」、中野立志館高校・中野西高校のキャリア教育の実践などが報告され、来年度へつながる意見交換が熱心に行われました。

②学校と家庭・地域との連携  
本年度から、「ヒト・モノ・コトと関わりながら自分の未来を切り拓くたくましい子ども」の育成を目指した、「中野市『教育力向上』プラン」を作成し、中学校区ごとに特色ある連携教育を始めました。

南宮中学校区は「家庭学習」、中野平中学校区は「早寝・早起き・朝ご飯プラス1運動」、高社中学校区は「4小学校連携による人間関係づくり」、豊田中学校区は「小

中合同地区懇談会」などに取り組み、一年目の成果と課題が明らかになりました。

なお、高社中学校、豊田中学校の英語教諭が学区内の小学校で外国語活動の授業を行い、小学生の「学ぶ力」、先生方の「授業力」が向上する契機となりました。

### 柳沢遺跡の銅戈・銅鐸が 中野市立博物館へ

柳沢遺跡については、県埋蔵文化センターによる発掘調査が終了し、昨年3月に調査報告書が刊行されました。

東日本で初めて発見された銅戈・銅鐸を含む出土物の所有権は長野県にあります。昨年4月、県教育委員会からこれらの譲与について照会がありました。

本市では、この貴重な文化財を取得し保存活用することが望ましいと判断し、譲与を希望する旨を回答しました。現在、文化庁等の指導により、文化財の展示収蔵施設として、市立博物館の改修工事

等(約3800万円)を行い、平成25年度には郷土の歴史文化を学ぶ良き学習材として、市民の皆さんに提供できるように準備を進めています。

### 通学路の緊急点検に伴う安全対策を実施

昨年8月に実施した通学路の緊急点検の結果、改善を要する箇所は116箇所でした。昨年11月現在、21箇所が対策済み、50箇所が対策予定となっています。残り45箇所については、今後も地元区や警察、道路管理者、学校関係者と連携し、子どもの命を守る通学路の安全に全力で対応していきます。このほか小中学校のトイレ167基の洋式化工事も完了しました。

### 少子化時代の学校教育の在り方議論が始まる

平成30年度の児童生徒数は、ピーク時の約45%と予想され、小規模の4小学校では、全学級の半分が9名以下となります。そこで、少子化時代の学校教育の在り方について検討する審議会が立ち上げられました。

昨年9月の第一回審議会では正副会長が互選され、諮問事項「中野市立小・中学校の適正規模及び配置」について、今後、2年以内で幅広い教育議論が行われます。

# 学校じまん 高社中学校



(校章のいわれ) 高社山を上  
に、ホップの葉を下に配し、中  
間に中学校の「中」の文字を入  
れています。高社山は、私たちを  
育み、理想と勇気を与えてくれ  
る地域住民の信仰の山であること、ホップは、創立  
当時の地域の代表的産業であつたことと希望(ホー  
プ)の願いを込めて校章が考えられました。

## 「ふねやと講座」の開講

高社中学校の一つ目の自慢  
は、年6回開催している「ふ  
ねやと講座」です。



▲小林正雄さんの講座

平成21年度から行っている  
この講座は、高社中学校を卒  
業された方や中野市出身の方  
を講師に招き、「総合的な学  
習の時間」の授業として行っ  
ています。「全生徒が自分を  
支えてくれる社会への関心を  
高め、主体的に関わっていけ  
る内容と過程を設定する」と  
いう趣旨のもと、キャリア教  
育の一環として取り組んでい  
ます。

平成24年度の第1回は、5  
月14日に書道家の上原恵子  
(雅号は、安藤梨影)さん  
をお招きし、書道の実演をし  
ていただいた後、3年生が書写  
の実習を行いました。

第2回は、5月29日に佐藤  
いずみさんから、1年生が新  
聞紙工作の実技を教えていた  
だき、たくさんの力作が出来  
上がりました。

第3回は、6月14日に元陸  
上自衛隊中央音楽隊・資料室  
長の小林正雄さんをお招き  
し、音楽に関する講演や演奏  
の披露などをしていただきました  
。また、合唱指導も行っ  
ていただき、文化祭(高社  
祭)では、すばらしい歌声を  
披露することができました。

第4回は、9月4日に「地  
質図中野」を制作された信州  
大学副学長、赤羽貞幸先生を  
お招きし、高社山の生い立ち



▲清野良文さんの講座

などを中心に講演していただ  
きました。高社山火山の噴火  
や長丘断層に関するることな  
ど、大変興味深い話をしてい  
ただきました。

第5回は、10月9日に福祉  
相談員の福岡寿さんをお招き  
し、ご自身の人生体験や、幅  
広い障害者への福祉活動につ  
いてお話しを聞かせていただ  
きました。福岡さんの温かな  
人柄に触れる大変貴重な時間  
となりました。

第6回は、11月8日に長野  
県総合リハビリセンター医務  
部長の清野良文さんに講演し  
ていただきました。良い師と  
出会うことの大切さや自分が  
常に成長しようとする気持ち  
を持つことの重要さなど、こ  
れからの生き方の指針となる  
話をしていただきました。

## 生徒間の人間関係づくり

二つ目の自慢は、1・2年  
生の学年行事前に行う予備的  
行事です。

多くの中学校は学年行事と  
して1年生はキャンプ、2年  
生は登山を行います。本校で  
は、学年行事をより充実させ  
るため、予備的行事として、  
1年生は、夜間瀬川で飯ごう  
炊さん、2年生は、高社山へ  
予備登山を行っています。こ  
れらを行うことで、生徒同士  
の信頼関係を築き、早い段階  
からクラスの団結力を高めて  
いきます。

「中一ギャップ」や、クラ  
ス替えによる不適応生徒への  
対応が喫緊の課題となってい  
ますが、高社中学校は学年行  
事を人間関係作りの場として  
とらえ、実践しております。



▲高社山予備登山

今後とも地域の皆さんの協  
力のもと、生徒たちの健やか  
な成長を願い、取り組んで参  
ります。

## 教育委員会の主な活動

4月		3月			2月												
下旬	中旬	中旬	中旬	4日	下旬	19日	18日	7日	28日	26日	22日	20日	13日	12日	8日	4日	
定例教育委員会	第1回教頭会	第1回校長会	会	県と市町村教委の連絡	定例教育委員会	中学校卒業式	小学校卒業式	会	式	中野市シニア大学卒業	第8回校長会	第5回教頭会	会	長野県市町村教育委員	第7回校長会	小学校及び中学校適正規模等審議会	県と市町村教委の連絡